

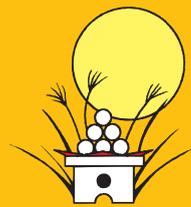


個性が輝く
おんな & おとこ
まちが輝く

とっぎゃざー

みんな 仲良く 一緒に

2014.9.第11号



八女市男女共同参画の実現に向けて

情報誌「とっぎゃざー」は、男女ともに個性と能力が十分に発揮できる八女市を願って名付けました。



大坪美智子さん

有限会社 木佐木仏壇店 伝統工芸士（蒔絵部門）

八女福島仏壇は、江戸時代後期の文政4（1821）年、指物（さしもの）大工の遠渡三作（とうわたりさんさく）が、夢で見た荘厳華麗な楼閣造りの仏壇の製造を志したのが始まりとされます。製造技術が確立されたのは嘉永年間（1848-54）で、これが九州での仏壇製造の源となったと言われています。

国の伝統工芸品として指定されている八女福島仏壇製造に関わる伝統工芸士の中で、ただひとりの女性が大坪さんです。蒔絵師として日々奮闘されている大坪さんにお話を伺いました。



取材 2014年6月6日

Q 蒔絵師を目指そうと思われたきっかけを教えてください。

A 八女福島の仏壇は木地、宮殿、金具、彫刻、蒔絵、仕上げの六つの分業制がとられています。私が幼少の頃は蒔絵師さんが少なく、八女の多くの仏壇屋さんが困っている状況でした。

この仏壇店が実家なので、幼いころから蒔絵は身近にあり、絵を描くのが好きだったので、この職業を選びました。また、女性が長く続けられる職業は少ないですが、職人だったら、家事や育児をしながらでもできるという思いもあつたからです。

京都の美術短大に進学し、学びながら、日展の作家さんに付いて勉強もしました。卒業したあとは金沢のお茶道具の蒔絵師さんの内弟子として2年間修行しました。なつめ、香合、お重、炉縁、広蓋（花嫁道具を入れる箱）、硯箱などに蒔絵を描いていました。たまに昔の物の直しも来ていましたね。色んなことを教えていただきました。勉強になりました。

その後、実家であるこの仏壇店に就職しました。

Q 仏壇の蒔絵というのは文様に規定や制約などがありますか。

A 本当はあるみたいですね。正統なものだと、お坊さんの説法があつたほうがいらしいですね。ある地域の仏壇だと説法の蒔絵を好んで描くと聞いています。でも、近頃そういう絵はあまり受け入れられないようです。ね。いかに仏壇といえども見ている楽しかったり、綺麗だったりするほうが皆さん喜ばれるので、私は好きなように描いています。ただうちの社長（実弟）に、あまりハメを外し過ぎないようにと釘を刺されています。（笑）

Q お客様からこのような文様でという注文はありますか。

A 朝倉にお住まいのお客さまだったので、ご自分が生まれ育った朝倉がとてもお好きで、筑後川が流れて、耳納山景に松があつてという景色をぜひ描いてくれというご注文を受けたことがあります。お客様が松の盆栽をされていて、「松は土が少ない過酷な所でもへばりついて大木になる。そんな人間になれ」と子どものころからいつも言われていたそうです。そのお客様はご自分で資料をたくさん集めて来られてとても熱心だったので、私も熱意に添えてお客様に気に入っていただける良いものを描きたいと思いました。

Q 女性であることで、試練とか困難を感じることはありませんか。

A 修行時代は男性のなかに女ひとりだったので、ちょっと厳しい対応をされたこともありましたが。でもいざ仕事となると男、女は関係なく、仕事が上手いか下手かで評価されるし、女性が珍しいからといって依頼されるものでもない、そういう点では平等ではないかと思えます。

Q 物づくりには技術は勿論、感性も大きく左右すると思うのですが、それを磨くために何かされていることはありますか。

A 私の趣味でもあるのですが、いいものを見るのが好きなんです。九州国立博物館や福岡市博物館などで良い企画展があれば見に行きます。どうしても見たいものがあつたら、遠方でも行きます。そういう努力はしています。努力というより楽しみですね。いいものをいっぱい引き出しに詰めて来て、描くときに引き出すということをしています。職人技といわれるようないいものを見ると目が肥えて、自分が持っているものがいかに不足しているのかが分かるでしょう。どれだけいいものを見てきたかという事だと思います。



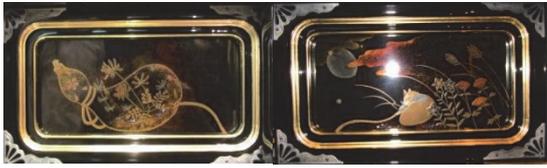
Q 伝統工芸を守ることと新しいものを生み出すことのせめぎ合いで、「苦労がある」と思うのですが。

A 最初のころは伝統工芸を守らなさいいけないという気負いがありました。今はあまり考えていません。伝統工芸自体がもう残っていないか、少し諦めた感があります。伝統工芸が残るためには、消費者の皆さんに買っていただくかないといけないじゃないですか。安ければいいという風潮が蔓延すると、伝統工芸品が売れなくなります。いい技術を持っていても仕事がなく、転職されたりとか、後継者不足とか、とても追い詰められている気がします。

私にも新しいアイデアが色々あるのですが、それを実行に移そうとジャンプする力がいまひとつ足りないなと思っています。



《携帯のカバーに施された蒔絵》



《仏壇の蒔絵》

Q 蒔絵師として女性だからこの利点、また難点を感じられることがありますか。

A ないですね。職人にとっては実力が全ての世界だと思っています。ただ女性のなかには、この程度でいいやと自分自身に甘えている人もいるかと思っています。それだと男性に行かれてしまいます。女性是对等に扱ってもらいたいと言いつつ、甘えている部分もあるのではないかと思います。なにか困った時には、「ねえ、あなた男だからやってみよう」と、そういうことってないですか。(笑) 男性からしたら「ふざけんよ。普段から男女平等と言っているじゃないか」と言いたいところじゃないでしょうか。(笑)

Q (仕事と生活の調和) ワーク・ライフ・バランスはうまくとれていると思いますか。

A 仕事場が自分の実家だから、自分の好きなように仕事をさせてもらっています。私の犬も連れて来ているし。(笑) 蒔絵ばかり描いていると疲れるけど、お客様の相手や他のことをすることで、丁度いいバランスがとれていると思います。



明太子とキャベツのパスタ



明太マヨネーズは小山に分けて盛り付け、食べる時混ぜれば見た目もきれい。

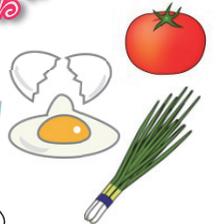
作り方

- ① キャベツはざく切りにする。明太子は腹を包丁で割って身を出し、マヨネーズとあえ、こしょうを振る。
- ② 鍋にたっぷりの水、塩を入れて沸かし、スパゲッティを入れてゆでる。
- ③ ②がゆで上がる30秒ほど前にキャベツを入れ、スパゲッティと一緒にザルに上げる。
- ④ ③を鍋に戻し、オリーブ油をからめて皿に盛る。
- ⑤ 明太マヨネーズをスパゲッティにのせ、からめながら食べる。

材料 (4人分)

- キャベツ……………1/4 個
- 明太子……………1 腹
- マヨネーズ…………大さじ 4~6
- こしょう……………少々
- スパゲッティ…………300 g
- 塩……………適宜
- オリーブ油……………適宜

簡単料理 レシピ



トマトのかき玉スープ



材料 (4人分)

- 水……………3 カップ
- チキンコンソメ…………固形 2 個
- トマト……………2 個
- 卵……………1 個
- 万能ねぎ……………適宜
- 塩、こしょう、……………適宜

作り方



- ① 水を火にかけてチキンコンソメ、トマトのざく切りを入れてひと煮立ちさせ、塩、こしょうで調味する。
- ② グラグラ煮立てた①にとき卵を回し入れ、すぐ火を止め、小口切りの万能ねぎを散らす。

どうする？ 父親の育児休業



●性別を問わず、育児休業は誰でも取得できる

育児休業は、女性だけでなく、男性も当然取得できます。育児・介護休業法では、「子が1歳に達するまでの間（子が1歳を超えても休業が必要と認められる一定の場合には、子が1歳6か月に達するまで）、育児休業をすることができる」と定められています。「一定の場合」とは、「保育所への入所を希望し、申し込みをしたが入所できない場合」、「配偶者が養育する予定だったが、病気等により子を養育することができなくなった場合」をいいます。会社に制度がなくても、要件を満たした社員が申し出た場合、会社はこれを拒否することができません。申し出は、休みたい日の1ヶ月前までに、必要事項を書いた書面などを提出して行います。

また、父母がともに育児休業を取得する場合、育児休業取得可能期間を子が1歳2か月に達するまでに延長することができます。なお、企業によっては、「子どもが3歳に達するまで取得できる」など、法律を上回る内容の制度を定めているところもあります。あなたの会社の制度がどうなっているか確認してみてください。



●妻が専業主婦の場合や、妻が育児休業中でも、夫も取得できる

妻が専業主婦の場合や、育児休業中でも、夫は育児休業を取得できます。（育児・介護休業法の改正により、労使協定によって妻が専業主婦や育児休業中の場合には、夫が育児休業を取得することができないとすることができする仕組みは廃止されました。）その他にも男性が子育てをできる働き方ができるような制度が設けられています。

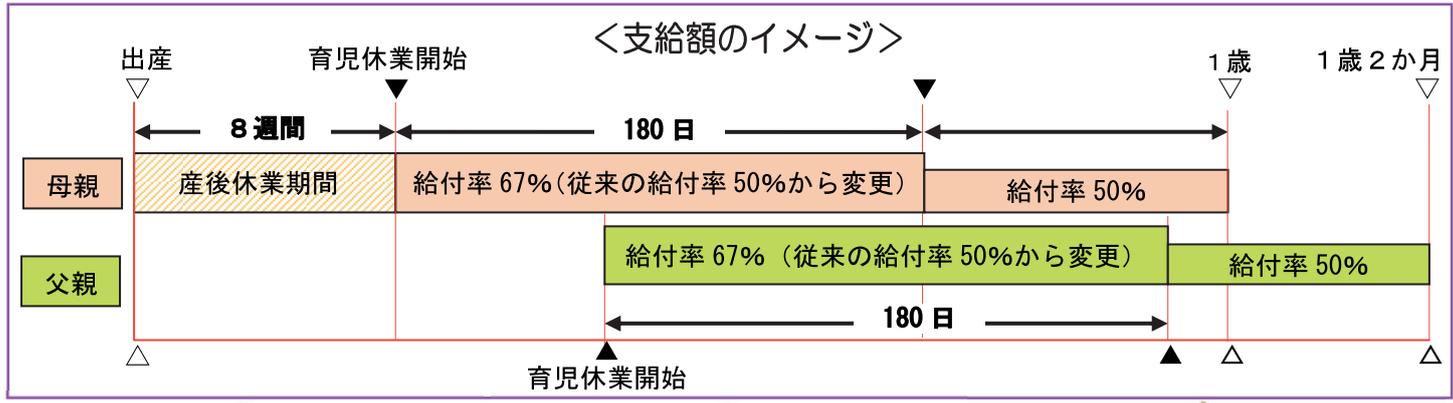
●休業中は、各種経済的支援がある

育児休業およびそれに準ずる休業（以下「育児休業等」）により無給になった場合でも、育児休業給付金などの所得補償や、社会保険料の免除などの経済的支援があります。また、会社から支援金が支給されるケースなどもありますので、確認してみてください。

1年の大半を育児休業し、年収が103万円以下になる場合、配偶者の扶養控除対象者としてすることができます。（育児休業給付金は、税法上では収入とみなされませんので、非課税で受け取れます。）

平成26年4月1日以降に開始する育児休業から 育児休業給付金の支給率が引き上げられました

育児休業給付金は、平成26年4月1日以降に開始する育児休業からは、育児休業を開始してから180日目までは、休業開始前の賃金の67%となりました。（これまでは全期間について50%）



★場所 おりなす八女
8月19日から
★場所 黒木総合支所
9月6日まで
★場所 黒木総合支所
10月7日から
10月23日まで

絵手紙展



【優秀賞】
木田 和子さん

【優秀賞】
井上 洋さん



【最優秀賞】
竹村千恵子さん

絵手紙作品 入賞紹介

「認め合い支え合う男女共同参画」をテーマにした絵手紙作品を募集したところ、応募いただきありがとうございました。入賞作品の一部を紹介いたします。





2040年 八女市では20～39歳の女性が今の半数以下になる



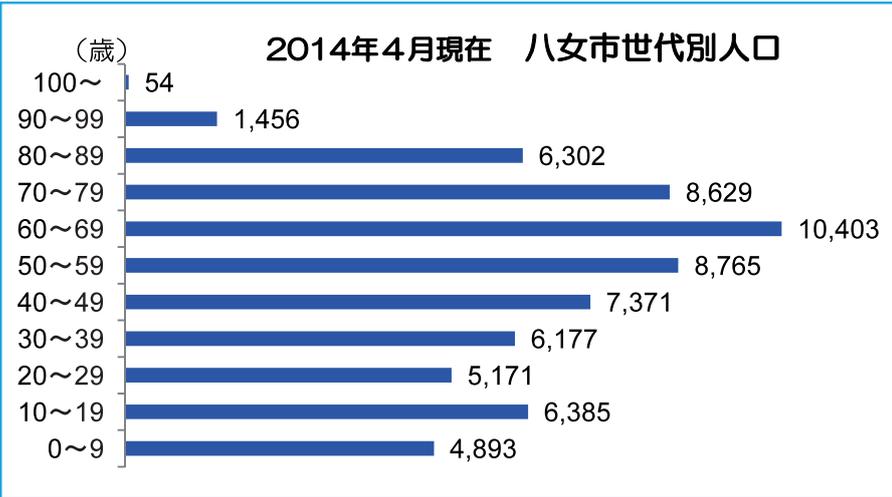
6,605人 → 2,793人

人口減少問題と私たちの課題

有識者でつくる民間の政策提言機関「日本創成会議」は、2040年には全国自治体の半分に当たる896市町村で、子どもを産む中心世代（20～39歳）の女性人口が半減するという試算を出しました。試算によると、南筑後では大牟田市、柳川市、八女市、大川市の名前が挙げられています。このまま何の対策も取らず、試算が現実のものになれば、介護保険などの社会保障制度や学校教育などに支障が出ることも予想されます。

★国際競争力ではなく「日本人の加齢」が最大の課題

★「出生率の低下」「現役世代の減少」⇒「消費者の不足」「経済縮小」



人口減少時代（現役世代減少）を乗り越えるには

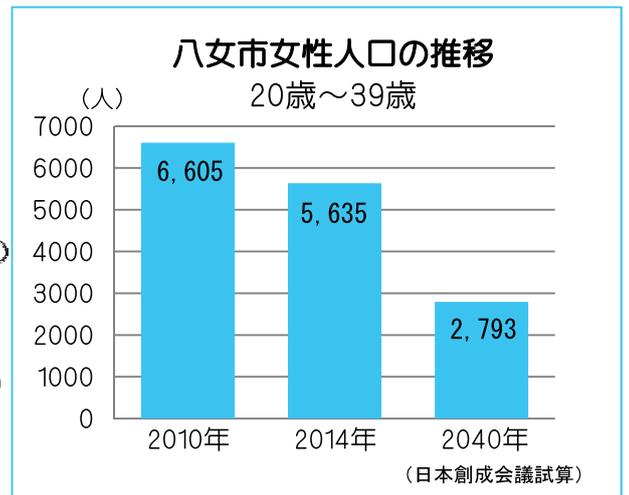
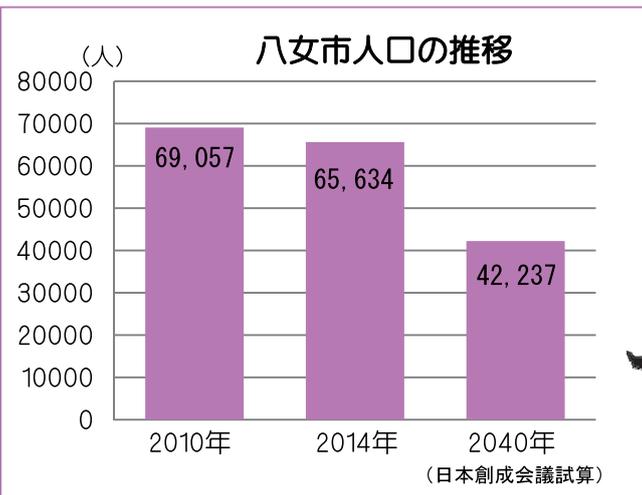
遠い将来のことと思われる方もおられるでしょうが、今から対策を講じておかないと地域社会の消滅という大変な事態を招くことになります。暮らしやすい地域づくりのためには、いくつかの課題があります。いまや男性一人の賃金では、家族を養い、子どもを育てることができにくい実態があります。夫婦共働きで安定した収入を得られるように雇用環境の整備が必要です。人口流出を防止し、地

域を活性化するためには若者や女性の雇用が鍵になります。地域に仕事があり、生活できれば人口の流出を防ぐことができるのです。今、地域雇用を支えているのは、医療や介護の分野です。高齢者の数が増えていく中で、この分野で働く女性や若者の処遇改善が重要になってきます。

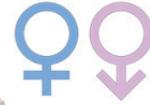
人口減少時代（現役世代減少）を乗り越えるには、「若者と女性が活躍できる社会をつくる」ことが緊急の課題になります。まさに、男女共同参画の視点が必要なのです。しかし、男女共同参画の最大の障害は、東京都議会の「セクハラやじ (sexist abuse)」に見られるような、男女の固定的役割分担意識と、女性を侮り下に見る考え方です。「個性は性を超える」という言葉がありますが、人はそれぞれが違っています。男女という枠に縛られるのではなく、お互いを尊重し、生き生きと暮らせる社会づくりが求められています。

「若者や女性が活躍できる社会づくり」に向けて

- ◆若者が結婚し子どもを産み育てやすい地域社会づくり
- ◆男性の働き方・意識（性別役割分担）の変革
家事・育児・介護への男性の参加 ワーク・ライフ・バランスの推進
- ◆女性就労の促進⇒家計収入の安定、消費の増加、税収の増加
- ◆退職者の課題⇒家事能力向上、地域での活動に参加、持続可能な地域社会づくりへの貢献



パートナーを どのように呼びますか？



男性
奥さん・家内
かみさん・妻
つれあい・女房
etc.

女性
夫・主人
旦那・亭主
つれあい
etc.

言葉にはそれぞれ意味があり、イメージを与えるもので、ともすると主従関係や固定役割を意識させることもあります。ちょっとだけ身近な言葉を見直してみませんか？

男と女の川柳

子は泣くが父ちゃんいつも高いびき(たまにはゆつくり寝たい妻)

毎日が地獄の時間夫退職後(お疲れ気味の妻)

言えませんが文句も愚痴も要望も(現職の妻を持つ定年夫)

現職の妻を支える家事メンに(若い妻を持つ定年夫)



※妻の川柳は2作とも投稿いただいたものです。



「男と女の川柳」「男の言い分、女の言い分」等々、皆様からの投稿を、随時募集しています。とっぎゃざー編集部『こらぼれーと』まで、郵送・FAXでお寄せ下さい。

問い合わせ先、郵便・FAX送付先 八女市男女共同参画・生涯学習課 男女共同参画推進係
〒834-8585 八女市本町647 電話 23-1314 FAX 22-2186



「Rome was not built in a day」～ローマは一日にして成らず～

編集後記

「すべての道はローマに通ず」と言われたほど繁栄したローマ帝国も、築くまでには多くの歳月を費やし、長い苦難の歴史がありました。大事業は長年の努力なしに決して短期間で完成するものではないという例えです。

八女市では2002年に「八女市男女共同参画行動計画」の策定。2004年に「八女市男女共同参画のまちづくり条例」を施行。男女共同参画都市宣言をしたのが2007年3月。情報誌の第1号発行が2009年11月。八女市の男女共同参画の取り組みはまだ踏み出したばかり。

最近、情報誌を読まれた方から、「日頃何気なく過ごしていることが、考えさせられるよい機会となっています。」という「意見、また、「楽しく読んでいます。」という声も複数聞きます。読破してもらえような誌面づくりに努力し、少しでも男女共同参画の意識が浸透していくことを願っています。